

壬申戸籍と

守札(氏子札)(二)

春 松 進 一

右様同断之事

年拾壹才 同人伴与三太良

年 壹才 同人弟七太郎

年十七才 同人姉くに

年十三才 同人妹ふて

年十一才 同人妹みな

年 七才 同人妹かね

八人

以下、松岡町における氏子札(守札)の発行を前提としての「書き上げ」と、その集成である「守札 人別御達帳」の一部を掲げ、皆様方の御教示をお願いしたい。

今般大政官人別守札相渡シニ相成候間
左之人別相改メ至急書出し申者也

氏神
神明宮

吉田郡
松岡櫛村
第九区九番組
茶屋

文化八辛未閏四月十七日出生

当主吉三郎

吉田郡 松岡 櫛村
文政十一戊子三月五日出生

実父五右衛門
当主境屋

文政六癸未三月廿三日出生

妻 与

九区九番組

年四拾四才

同所窪村小玉忠平姉

年四十九才

氏神 神明宮

実家当地台町作右衛門娘六女

妻いね

天保十三壬寅九月十日出生

伴 龜三郎

丙天保八子三月五日出生

年四十四才

嘉永二己酉十月罷越

年三拾八才

天保十三壬寅九月十日出生

年三拾才

癸天保十三丑五月五日出生

年三十六才

万延元辛酉九月廿四日出生

与三太良

嘉永四辛亥ノ極月十六日出生

熊次郎

同人妻いね

年拾一才

年廿一才

当所台町鍛冶屋作右衛門娘五人目女

嘉永六癸丑十月廿四日

姉くに

三男

春松 壬申戸籍と守札(氏子札)(二)

嘉永八乙卯九月三日出生

童三郎

安政四年丁巳五月五日出生

庄太良

男式人
女三人

安政六己未七月八日出生

彦次郎

万延元年庚申八月十五日出生

三男

長松

弘化四丁未九月九日出生

龜三郎妻

人数五人

市良平より

第九区九番組

吉田郡

本保領森川村平重郎娘

りさ

人数五人

市良平より

第九区九番組

松岡

明治三庚午二月三日出生

同娘

天保七丙申九月十六日出生

三ヶ村惣分地

氏神 神明宮

利平

文政十一年戊子十月廿日出生

市郎平

天保十一庚子十一月朔日出生

妻つな

安政六年己未十一月廿日出生

すき

寛政十年戊午三月十日出生

母つよ

安政六己未三月十三日出生

俣源吾

安政七年甲寅四月十二日出生

みつ

石神村与平娘三人目

俣源作

万延元辛酉十一月廿五日出生

娘てい

安政七年乙卯三月三日出生

みつ

嘉永七年甲寅四月十二日出生

年拾八才

万延元辛酉十一月廿五日出生

娘てい

安政七年乙卯三月三日出生

みつ

第九区九番組

吉田郡

松岡村

文化七庚午八月八日出生

母しな

文政十年丁亥四月十日出生

みよ

氏神 神明宮様

松岡村

文化七庚午八月八日出生

母しな

文政十年丁亥四月十日出生

みよ

文政十一年戊子十月廿日出生

市郎平

天保十一庚子十一月朔日出生

妻つな

安政六年己未十一月廿日出生

すき

寛政十年戊午三月十日出生

母つよ

安政六己未三月十三日出生

俣源吾

安政七年甲寅四月十二日出生

みつ

石神村与平娘三人目

俣源作

万延元辛酉十一月廿五日出生

娘てい

安政七年乙卯三月三日出生

みつ

嘉永七年甲寅四月十二日出生

年拾八才

万延元辛酉十一月廿五日出生

娘てい

安政七年乙卯三月三日出生

みつ

第九々九番組

天保十二年

辛午七月十三日出生

年三十才

慶応三年丙寅年四月十二日出生

年六才

龜吉

弘化二年乙巳七月十七日出生

年廿七才

櫛村

重三郎

嘉永六年癸丑年八月十八日出生

年十九才

房吉

安政四年丁巳五月十三日出生

年拾五才

嘉永三年庚戌年極月三日出生

年廿二才

おつる

嘉永四年辛亥正月三日出生
弟初吉
年貳拾壹才

天明四年

甲辰正月十四日出生

年八十八才

天保十年己亥年三月廿二日出生

年三十三才

おつる

一倅 政吉 年三歳
一多吉 年二十貳歳
一母いと 年四十九歳

一弟長太郎 年十七歳

一松藏 年四十八歳

文政五年

壬午二月朔日出生

年五十才

但し此者嘉藏の家内
出生三國在竹松村
近藤久右衛門娘

同人母

一倅松吉 年十八歳

一倅竹松 年七歳

嘉永十四年

庚戌二月廿七日出生

年廿壹才

第九区九番組

吉田郡

松岡

一娘たつ 年十貳才

一娘たつ 年五才

四人

櫛村

氏神 神明宮様

弘化四年丁未十二月廿六日出生

長次郎

天保十年亥十一月廿七日

おや与兵衛

天保十年己亥年九月五日出生

年三十三才

浅与衛門

文化十三年丙子九月十五日出生

母ちの

一年三拾三才

市十郎

弘化四年丁未年九月十五日出生

当所台町浅吉娘式人目

年五拾六才

天保十四年卯三月十二日

藤卷村惣兵衛

春松 壬申戸籍と守礼(氏子札) (二)

一年式拾九才 家内 おしま

戌十一月七日

一年拾才 伴 染吉

丑十月廿九日

一七才 おいわ

明次元辰とし十月十二日

一四才 辰巳

第九区九番組

吉田郡

松岡柵村

氏神 八幡宮

覚

明治元戊辰年九月十六日病死

父 三拾九才 重平

此人五所加□五郎平方より参り

天保三壬辰年 三月朔日出生

母 四拾才 たつ

此人同所本町桶屋三郎右衛門方より参り

氏神春日大明神

安政二乙卯年三月朔日出生

娘 拾七才 うた

万延元庚申年十月廿六日出生

伴 拾二才 藤吉

慶応二丙寅年十月六日出生

娘 六才 い□

守札 田中小寿良組下

人別御達帳

吉田郡第九区

九番組柵村

実父あぶら屋茂右衛門故

天保十三壬寅八月廿八日出生 当主茂三郎

但し此者東京表へ持奉公仕居候 年三十才

人形町通り住吉町十番地幸屋成造本名松尾

茂三良

実家当地窪神谷仙太郎娘 天保七丙申二月

罷越実父故

文政三辛巳十一月十八日出生

四 辰

実家当地御徒士町福鳴屋萬平娘元治二乙丑

正月罷越実父故

天保十二辛丑八月三日出生

妻いわ

弘化三丙午三月十六日出生 年三十一才

弟松吉 年廿六才

明治元戊辰正月廿五日出生 伴八六郎 年四才

明治三庚午十一月二日出生 二男

慶応元乙丑十二月廿三日出生 娘りき 年七才

天保七丙申五月十五日出生 彦三郎 家来

(以下略)

現存する氏子札

その後、氏子札の存在を色々な方から知ら

されたり、参考図書の中にその存在を示す写

真等の掲載のご教示を受けたりした。

当町においても、その後三枚の氏子札が発

見された。

丸木屋勘三郎一家の三枚である。交付神社

および発行年月日は前掲通りである。

当福井県において、「麻生津村誌」に氏子札

の記載がある。

石川県鶴来町立博物館に一家全員七名の氏子札が展示されている。

「国史大辞典第二巻」「神道大辞典第一巻」などにも、氏子札の写真の掲載がある。

神社名 国名・住居 人名

松岡柴神社 越前国猪谷村

伝与門

松岡柴神社 越前国

丸木屋勘三郎

金劔社 加賀国鶴来村

武与右衛門

福井足羽神社

白崎たの

長峯社 伊勢国

鈴木とら

武蔵国入間郡脇田村八幡神社松本多十郎

枚数 発行年月日

所蔵者名

2 明治四辛未年十二月

畑 導

3 明治四辛未年十二月

高沢弘典

7 明治六年二月

鶴来博物館

2 明治六癸酉年一月

増永達右衛門

1 明治五壬申年五月

神道大辞典

1 明治四辛未十二月朔日

国史大辞典

以上からでも分かる通り、当町における氏子札は、全国でも比較的早期に発行されたことが確実であり、且つ「書上・御達帳・氏子

春松 壬申戸籍と守札(氏子札)(二)

札」の三点が残存している町村は、珍しいのではないかと思われる。

松岡町柴神社氏子札(畑 導家所蔵)

表	松岡柴神社氏子 文化九壬申年七月十九日出生	越前国 平助女 猪谷村 たよ
---	--------------------------	-------------------------

表	松岡柴神社氏子 弘化二乙巳年正月六日出生	越前国 猪谷村 吉兵衛男 伝与門
---	-------------------------	---------------------------

裏	明治四辛未年十二月 豊嶋俊十郎(印)
---	-----------------------

松岡町柴神社氏子札(高沢弘典家所蔵)

表	松岡柴神社氏子 嘉永五壬子年十二月十三日出生	越前国 松与門男 丸木屋勘三郎
---	---------------------------	-----------------------

表	松岡柴神社氏子 安政五戊午年十二月廿三日出生	越前国 勘三郎女 丸木屋いか
---	---------------------------	----------------------

表	松岡柴神社氏子 文政四辛巳年六月廿日出生	越前国 六平女 丸木屋ちゑ
---	-------------------------	---------------------

表	加賀金劔社氏子札 生国加賀鶴来村居住	裏面は畑家所蔵のものと同じ
---	-----------------------	---------------

鶴来村	父能美屋兵次郎女
金劔社氏子	とく
文政二年	出生

生国加賀鶴来村居住	
鶴来村	父与右衛門男
金劔社氏子	武 与右衛門
天保四年	出生

生国加賀鶴来村居住	
鶴来村	父武 与右衛門女
金劔社氏子	ちゑ
弘化三年	出生

生国加賀鶴来村居住	
鶴来村	父 与右衛門男
金劔社氏子	又一
明治三年	出生

生国加賀鶴来村居住	
鶴来村	父与右衛門男
金劔社氏子	武 喜助
天保十年	出生

生国加賀鶴来村居住	
鶴来村	父当村与右衛門女
金劔社氏子	ふさ
嘉永六年	出生

生国加賀鶴来村居住	
鶴来村	父武与右衛門女
金劔社氏子	つね
安政二年	出生

明治六年二月
祠官 宇野親孝
祠掌 立田耕三

門外漢の小さな疑問が、次々と自分なりの
 発見を生んでいった。歴史にも弱く、古文書
 もよく読めない私にとって、氏子札の存在に
 ついては、豊島稜威雄氏と、河端五平氏、杉
 本寿氏、各種の史料のご教示は天野俊也氏、
 古文書の解説には河合武雄氏を煩わした。鶴
 来町立博物館には貴重な展示物のコピーを戴
 き、それらによってこの小文の完成を見た。
 拙文を終わるに当たり、諸氏への感謝の言葉
 に替えたい。
 (書き上げ及び人別御達帳は堺五文書〔末永
 捨録氏所蔵〕であり、氏子札については、そ
 の後、福井市小林健寿郎氏所蔵『三国町春日
 神社発行』が発見された。)